

ごあいさつ

学問とは、文字通り、問いに学ぶことであり、研究は「なぜ」という疑問から出発します。多様な専門分野がありますが、それぞれの出発点は同じだと思われます。自らの疑問を解いていくことは容易ではありませんが、その過程において、様々な人々や事象との出会いの中から新発見があり、気づかされることがあり、学問研究は人間形成にも大きな影響を与えていると思います。

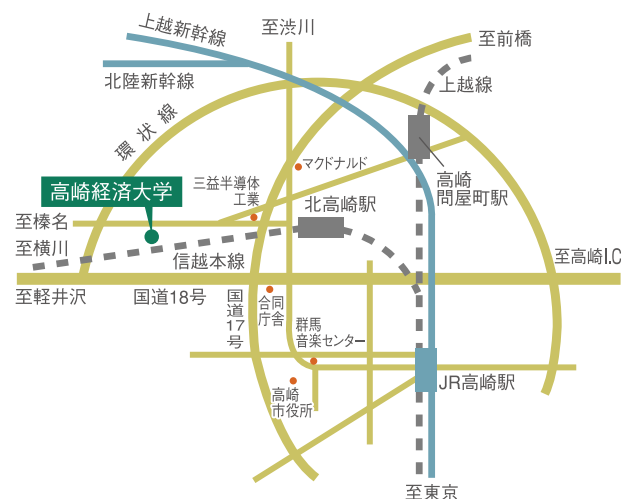
加えて、学問は能動的なものであり、幅広い知識欲を持って、積極的に謎を解いていくことは、生きがいの一つとなることもあります。生涯学習は、いつまでも問題意識を持ち続け、謎解きに挑戦していく積極的な生き方を実現するためにも有用だと思われます。

2015年4月に発足しました地域科学研究所では、高崎市民、群馬県民の皆様には生涯学習の機会を増やそうと、2016年度より春季の連携講座と秋季の公開講座の2本建てといたしました。受講生の皆さんには熱心に受講していただき、我々の役割の重大性を改めて認識いたしました。

本年も、地域科学研究所の所員が最新の研究成果を披露いたします。世界情勢が混沌とし、日本も地方消滅がクローズアップされている中、私たちは社会全体や身近な地域社会にどのように向き合っていけば良いのかについて、公開講座を通して学び考えていただくことができれば幸いです。

2017年8月1日
高崎経済大学地域科学研究所
所長 西野寿章

高崎経済大学へのアクセス



バス時刻表

行き	高崎駅西口	高経大前	帰り	高経大前	高崎駅西口
	17:50発 (箕郷行き)	18:06着		20:18発	20:45着

高崎駅西口から群馬バス

2番乗り場 (本郷経由室田行き・沖経由箕郷行き・榛名湖行き)

市内循環バス「ぐるりん」

4番乗り場 (経大先回り)

約20分

※車でお越しの方は、駐車場をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ先



高崎経済大学 地域科学研究所
〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地
TEL:027-344-6267 FAX:027-343-7103
E-mail:chiikikagaku@tcue.ac.jp



第34回

公開講座

高崎経済大学
◇ぐんま県民カレッジ連携講座◇
現代社会への多面的アプローチ

2017



講義方式・全10回

10/ 木 5	テーマ アフリカ農村にみる環境利用の知恵 黒崎 龍悟 所員 経済学部准教授
10/ 木 12	テーマ 働き方改革 一推進への課題と予想される影響についてー 小林 徹 所員 経済学部講師
10/ 水 18	テーマ 異文化理解とおもてなし ーイスラームを中心にー 小牧 幸代 所員 地域政策学部教授
10/ 水 25	テーマ 経営者報酬制度の歴史 ー今後日本で増加が見込まれるインセンティブ報酬を中心にー 藻利 衣恵 所員 経済学部准教授
10/ 火 31	テーマ 年金と株とよりよい社会 ー年金の積立金はどのように運用されるべきかー 水口 剛 所員 経済学部教授・副学長
11/ 水 8	テーマ 日本の雇用問題を考える 永田 瞬 所員 経済学部准教授
11/ 水 15	テーマ 日本における移民法導入の是非 新田 浩司 所員 地域政策学部教授
11/ 水 22	テーマ ロンドン ーまちづくりの歴史ー 唐澤 達之 所員 経済学部教授・副学長
12/ 金 1	テーマ ヒンドゥー教の文化と暮らし ー南インドの事例からー 飯塚 真弓 特定研究員 任期制助手
12/ 水 6	テーマ 働き、休み、楽しむ ー高負担社会スウェーデンを事例としてー 秋朝 礼恵 副所長 経済学部准教授

公開講座概要

日程 平成29年10月5日(木) ～12月6日(水)	回数 全10回
時間 18:30～20:00	場所 高崎経済大学 6号館621教室
対象 一般・学生 (18歳以上)	定員 100名 (先着順)
受講料 2,000円	修了証 7回以上出席の方には 最終日に修了証を交付します

お申し込み方法

氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、連絡先電話番号(昼間連絡のつく番号)を明記し、はがき、FAX、Eメール等で9月1日(金)までにお申し込みください。受講申込者には別途詳細をご案内いたします。

2017年度 第34回 高崎経済大学公開講座 FAX用申込書

F A X 番 号

027-343-7103

ふりがな			
氏名			
年齢	歳	性別	男 ・ 女
住所	〒 -		
TEL	()	-	
FAX	()	-	
メールアドレス			

※公開講座へのお申し込みで得た個人情報は、本学公開講座の事務以外には使用いたしません。